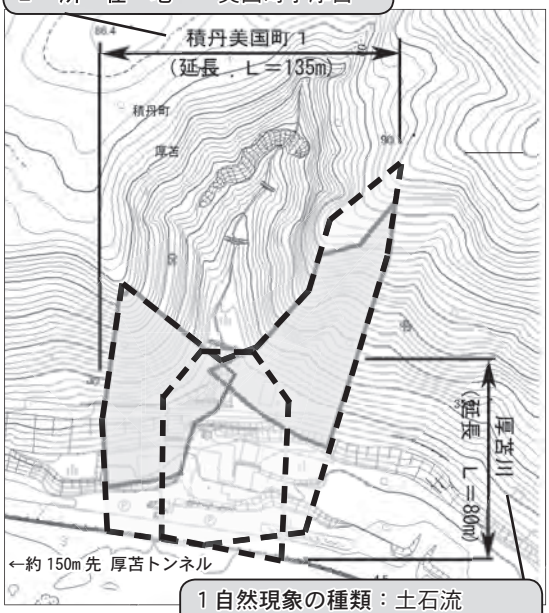
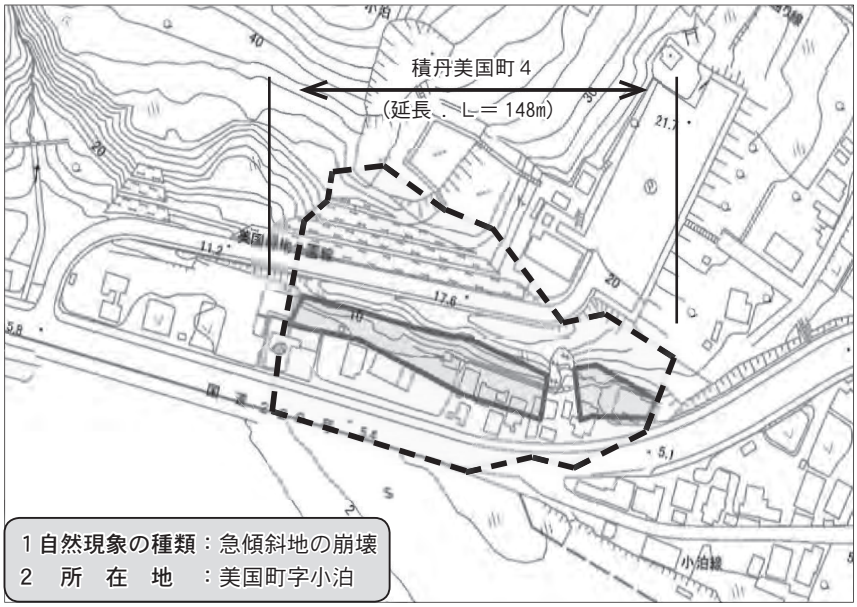
美国町小泊・厚苫・茶津地区の一部が
土砂災害警戒区域に指定



１自然現象の種類：急傾斜地の崩壊
２　所　在　地　：美国町字厚苫

１自然現象の種類：土石流
２　所　在　地　：美国町字厚苫

小泊・厚苫地区



１自然現象の種類：急傾斜地の崩壊
２　所　在　地　：美国町字小泊

土砂災害警戒区域とは

※土砂災害防止法に基づき、土砂災害（崖崩れ、土石流、地すべり）発生の危険がある地域を指定するものです。

土砂災害から国民の生命・身体を守るために、土砂災害が発生する恐れがある区域を明らかにし、「危険の周知、警戒避難体制の整備」等のソフト対策（土木工事によらない対策）を推進しようとするものです。

※「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

ご理解とご協力を！

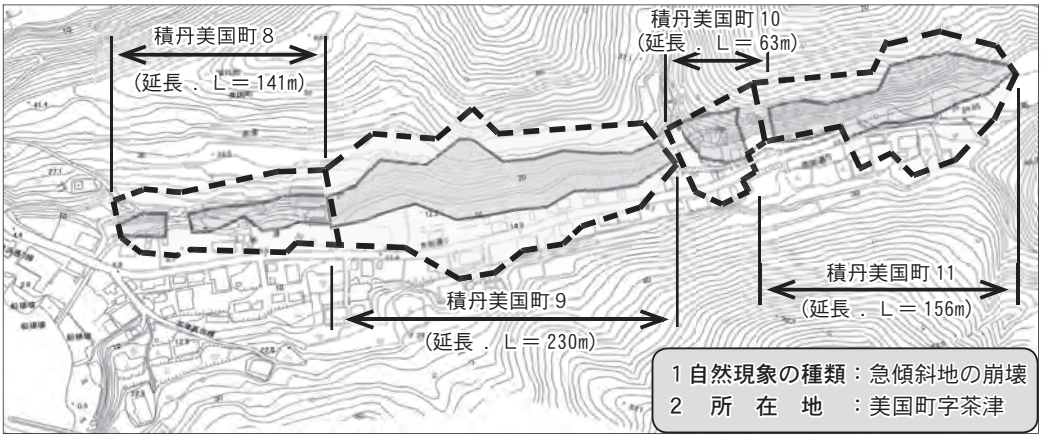
今回新たに9箇所が指定され、昨年指定された日司町とあわせ、町内で10カ所が指定されました。

今後も土砂災害危険箇所は北海道において基礎調査が終了した箇所の区域指定の手続きを進めていくことになりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

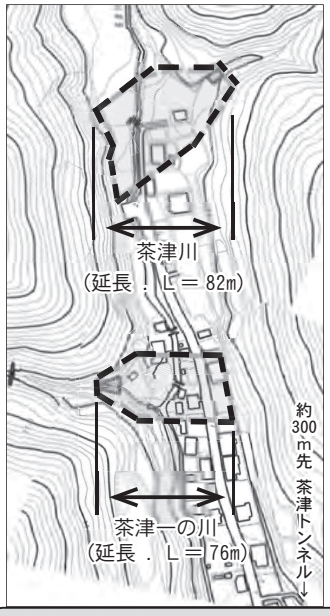
◎点線で囲まれている範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
◎実線で囲まれている範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
・土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

項　目	記号
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	

茶津地区



１自然現象の種類：急傾斜地の崩壊
２　所　在　地　：美国町字茶津



１自然現象の種類：土石流
２　所　在　地　：美国町字茶津

～美国川河川改修事業により堤防と町道を分離～

町道美国堤防通り線の付替事業説明会を開催

小樽建設管理部が計画概要を説明

美国川河川改修事業は、地権者など関係者の皆さんのご協力により本格化し、今年7月には国道美国橋の仮橋が供用開始される予定です。

町では、今後の美国橋の左岸上流部の河川改修工事による新たな築堤の整備に併せて、その法面下に新たな町道の付替事業を計画することについて道へ要請してきました。

この度、地域や沿線住民の意見を計画に反映するため、去る4月15日に町総合文化センターで、計画概要の説明会が開かれました。

この日は、道後志総合振興局小樽建設管理部と町の担当者を説明員に、町内会や産業団体の役員、沿線の地権者・建物所有者など8名が出席しました。

説明では、「現在、堤防上部を占用している町道を、新たな築堤整備に併せて分離し、その法面下に新たに町道を付け替えることや、これまで堤防と兼用だった町道を分離することからその分の堤防高が低くなりますが、新たな築堤により川幅が拡大することで増水時に必要な河川流量が確保される。」ことなどについて説明がありました。

町道付替に関連する整備の必要性

町からは、北海道が補償整備する町道の付替に伴い、補償制度上、一部工事費の町負担も予定されますが、照明灯（防犯灯）や排水側溝の整備など関連整備の必要性について提案したところです。また、付替する町道と既設の栄町本通り線との間に連絡路の取付箇所を検討していただくよう町内会へ要請しました。

出席者からは、「付替する町道の取付位置」や「駐車スペースの確保」などの質問があったほか、説明会終了後には個別相談も行われました。

今年度は、道による測量など現地調査の実施が予定されていますので、私有地への測量業者の立ち入りなど周辺町民の皆さんには引き続きご協力をお願いします。

放射線監視体制の更なる強化へ
余別町へ「モニタリングポスト」設置

原子力防災対策を強化する目的で、北海道は町内余別町に新たにモニタリングポストを設置しました。

モニタリングポストは、原子力発電所からの放射線による影響があるかどうかを監視するため、国の指針に基づき、平成24年度に泊発電所から半径30㎞圏内（UPZ）に設置されることとなり、積丹町内では美国町に1基設置されていました。

監視体制の強化を望む、積丹町など関係市町村の要望を踏まえ、北海道は、平成26・27年度の2カ年で30㎞圏外にもモニタリングポストを設置、監視体制を強化することになり、町内余別町の1基を含む9基を増設することとしたものです。

測定は24時間体制で行われ、モニタリングポストに測定数値が表示されるほか、インターネットでもリアルタイムにその情報を確認することができます。（余別町の測定結果は、平成28年度から情報提供予定。）

インターネットURL：http://www.genshi.pref.hokkaido.jp/

放射線の通常測定値：約30～50nGy/h※
測定値は、降雨雪時に上昇することがあります。
また、積雪時には減少する傾向があります。

※nGy/h（ナノグレイパーアワー）とは
1時間あたりの放射線量を示す単位

■追加設置されたモニタリングポスト
（余別地区コミュニティセンター前）

■美国町に設置されているモニタリングポスト
（給食センター前）